平和憲法･9条をまもる 岩手の会 ニュース No.１９６

2022.2.1
発行：平和憲法・９条をまもる
岩手の会 実務者会議
連絡先 県生協連・県消団連
TEL　019－684－2225
FAX　019－684－2227

９条改悪･日米合同軍事演習をやめさせよう！～岩手県平和大会開催～

県内の団体、個人が取り組んでいる平和運動を交流しようと、岩手県平和大会が実行委員会形式で再開され、４年目を迎えました。その第４回岩手県平和大会が昨年１２月４日（土）の午後、ふれあいランド岩手を会場に、盛岡市内を中心に３０人が参加して開催しました。

「国内で海兵隊と実施する最大規模の実動訓練」とされる、自衛隊滝沢演習場も使用した日米共同訓練の開始日（１２月４日から１７日まで）でもあり、抗議の集会としても準備されました。

冒頭に日本平和委員会の千坂事務局長から Zoom で講演があり、その後、沖縄や地元の平和運動を映像で記録し続けているロングラン社の都鳥拓也さん、高校生などの名簿が自衛隊に提供されている問題に取り組んでいる北上市の菊地靖さん、県内でのオスプレイ低空飛行問題などを県平和委員会の菅野宗二さん、ピースキャンパスの横田基地視察の報告などが続き、参加者からの質問、感想などで交流しました。（春山一男）

「赤紙」配布し平和を呼びかけ ～岩手県母親大会連絡会～

太平洋戦争開戦から 80 年となった昨年 12 月 8 日、戦時中の召集令状「赤紙」を模したチラシを配布し、平和の大切さを訴えました。岩手県母親大会では、1980 年から終戦の日の 8 月 15 日と合わせて年 2 回チラシ配布をしていますが、この日は県内 10 地域で行いました。

敵基地攻撃能力の保有検討や防衛費の拡大で 80 年前を思い出させるような動きが強まっている中、草の根の世論で 9 条改憲を阻止するため、盛岡市大通では約 30 人でチラシ 250 枚を配布しながら、「憲法改悪に反対する全国署名」も呼びかけました。（亀卦川瑞枝）

お知らせ **「９条改憲ＮＯ！全国市民アクション岩手の会」学習集会**

2月20日(日)10:00～12:00(開場9:30)　※終了後に、ピースパレード予定

岩手教育会館 多目的ホール(盛岡市大通１－１－16)

オンライン講演

「憲法を変えて『戦争のボタン』を押しますか」

～「自民党憲法改正草案」の問題点～

講師:清水雅彦氏（日本体育大学教授・憲法学専門・九条の会世話人）

※講演はオンラインになりました。当日はライブ配信も実施します。

配信用URL・QR コード⇒ https://youtu.be/I4RRI7PPZ6E

◇内容：学習講演、質疑応答、岩手の会今後の取り組み提起　◇参加締切：２月１５日

コラム ―「感染部隊出国時検査せず―沖縄（米海兵隊）キャンプ・ハンセン他基地も未実施」
…皆さん、どのように感じましたか？―

↑コラムタイトルの「」部分は、米海兵隊の米国から沖縄への移動時に関する、‘21 年 12 月 24 日報道の「見出し」です。

この時は、既に日本政府は特にもオミクロン株流入防止のための水際装置を講じているときでありました。

沖縄県の玉城知事は、米側の対応に「大きな穴が開いていた。言語道断だ」と怒りを表明しました。コラム子は、玉城知事の発言に同意しながら、日本国民はバイデン米大統領とその政府に怒りを表明しなければならないと思いました。

事態は以下のようでありました。

「政府は 23 日、米海兵隊キャンプ・ハンセン（沖縄県）の新型コロナウイルスのクラスター問題に関連し、『米国出国時に PCR 検査を実施していない在日米軍基地がキャンプ・ハンセン以外にもあることを確認した』」と明らかにした」とのこと。

「外務省関係者は取材に『出国時検査を実施していなかった部隊はキャンプ・ハンセン以外にもある』と明言した」とのこと。

加えて「在日米軍司令部は 23 日、通信社の取材に対して、『今年 9 月の米疾病対策センター（CDC）などの手引きに従い、軍用機で米軍施設に到着する米兵らに対し、ワクチン接種済みであれば到着前の検査義務を解除していた』と明らかにした」とのこと。

「林芳正外相は 24 日の記者会見で、米海兵隊キャンプ・ハンセン（沖縄県）の新型コロナウイルスのクラスター問題に関連し、『米軍が今年 9 月 3 日に全ての在日米軍施設の米兵らに対し、出国時検査を免除していた』と発表した」とのこと。

米側の対応について言えば「在日米軍司令部」は駐留先国の政府の方針を軽視しているのではないか。また「CDC」が米国政府の同国内向け「疾病対策機関」であり、「国際機関」ではないことが念頭にないのではないか、否駐留先国の日本は「米国領」だと思っているのではないかと勘繰りたくなります。

また、キャンプ・ハンセンの「日本人従業員が新たな変異株『「オミクロン株』」に感染し、感染拡大が懸念されている」のであれば、感染米兵らに対する「ゲノム解析の実施」の必要性が求められていると言われます。

いずれにしても、岸田政権の毅然とした対応が求められるのではないでしょうか。バイデン米大統領とその政府に怒りを表明し、日本国民に対する米側の責任の所在を求められる本物の政府かどうかを…（T）

《事務局より》

お知らせ①

９条改憲 NO!全国市民アクション岩手の会主催映画会
都鳥伸也監督作品ドキュメンタリー映画
「戦争の足跡を追って～北上・和賀の十五年戦争～」
（106 分）上映会

◇3 月 27 日（日）10：00～、14：00～
（どちらも終了後、作中で証言していた北上平和祈念展示館の川島茂裕氏によるトーク実施）
◇岩手教育会館 2 階多目的ホール
◇前売券：500 円（当日 700 円） ※大学生以下無料
※前売券販売開始等は決まり次第お知らせしていきます。

お知らせ②

全国市民アクション作成の、のぼり・横断幕・ポスターがセットになった宣伝ツール（１セット 2,000 円、送料・代引手数料別）ができました。セット料金のみでお譲りします（送料は事務局が負担）ので、ご希望の団体は、岩手県生協連までご連絡ください。

「２月の街宣署名行動」

２月９日(水)12:30～13:00
盛岡市大通・野村証券前

「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけ、人との距離を保って宣伝を中心に行います。
ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。